

3 人と人がつながるスポーツコミュニティづくり

コミュニティ

1 スポーツに携わる人材の育成

- ① スポーツ指導者の育成
- ② ジュニアアスリートの育成
- ③ スポーツボランティアの育成、活動支援
- ④ スポーツ功労者への表彰

2 スポーツを通じた共生社会づくりの推進

- ① インクルーシブなスポーツの推進
- ② 障がい者スポーツの指導者の配置・育成
- ③ スポーツに参加しやすい環境づくり

3 地域×スポーツによるまちづくり

- ① スポーツ推進委員の活動支援
- ② 地域のスポーツ団体の活動支援
- ③ 学校体育施設を活かした地域スポーツの推進
- ④ 地域の特性や資源を活かしたスポーツ活動の推進

4 地域活性化に資するスポーツ環境の整備・スポーツ産業との連携

- ① スタジアム等を活かした地域の活性化 (DX 導入等)
- ② スポーツチームとの連携の推進
- ③ 民間・地域・学校との連携の推進

1 スポーツに携わる人材の育成

① スポーツ指導者の育成

スポーツ指導者の人材育成を支援し、
競技団体等の競技水準の向上を図ります

● スポーツ団体等の競技力向上事業への支援 (再掲)

参考指標

市内を拠点として活動する競技団体等が実施する、審判員等の人材育成等、競技力向上に資する事業への補助を行うことで、競技水準の向上を図ります。

● 障がい者スポーツ指導員等の養成や各区のスポーツセンター・プール等への配置 (再掲)

障がいのある人に対して、その障がいの状況に応じて適切にスポーツの指導ができる障がい者スポーツ指導員の養成を行い、各区のスポーツセンター・プール等に配置します。

■ 関西広域連合として取り組む内容〔関西広域スポーツ振興ビジョン〕

各府県市が連携し、アーバンスポーツを含む競技人口が少ない競技種目、障がい者スポーツの競技種目等のアスリートの育成練習会やスポーツ医科学研究等の知見も活用した指導者・トレーナーの育成会の共同開催のほか、各種大会等の開催を企画・運営するなど地域スポーツの推進を担う人材育成の機会確保についても検討します。

参考指標

スポーツ指導者 育成支援補助事業数

② ジュニアアスリートの育成

ジュニア競技者の育成支援に取り組み、未来のアスリートを輩出します

● スポーツ団体等の競技力向上事業への支援 (再掲)

参考指標

市内を拠点として活動する競技団体等が実施する、トップアスリートをめざすジュニア競技者の養成等の事業を支援することで、未来のアスリートを育成します。

参考指標

ジュニア競技者 育成支援補助事業数

3 スポーツボランティアの育成、活動支援

スポーツをささえるボランティア機会を提供します

● 大阪市スポーツボランティア制度の活用（再掲） 参考指標

「大阪市スポーツボランティア」登録制度を活用し、大阪市が関わる各種大会、スポーツイベント等におけるボランティアの機会や場所の情報をスポーツボランティアに提供し、生きがいづくりや社会参加を支援します。

● 国際的な大規模競技大会におけるボランティア活動の機会提供

大阪マラソン・大阪城トライアスロン大会、ワールドマスターズゲームズ関西等、大規模なスポーツ大会やイベントにおいては、大阪市スポーツボランティア登録者以外にもボランティアを募集し、活動機会を提供するとともに、人材の育成・発掘を行います。

参考指標 ボランティア参加事業数（市主催事業）

4 スポーツ功労者への表彰

スポーツの普及振興に尽力された方の功績を称え、
スポーツ人材の活動を表彰することで、ささえるスポーツを推進します

● スポーツ功労者の表彰 参考指標

市民体育の振興に顕著な成果をあげた優良団体及び個人の市民体育功労者の功績を称え、表彰することにより、ささえるスポーツを推進します。

● 大阪市市民表彰

大阪市市民表彰において、毎年、スポーツ・レクリエーションの普及振興に尽力された方をスポーツ功労者として表彰することにより、ささえるスポーツを推進します。

参考指標 スポーツ功労表彰数

2 スポーツを通じた共生社会づくりの推進

1 インクルーシブなスポーツの推進

誰もが参加でき、一緒に気軽にスポーツに親しみ、
楽しめるスポーツイベントを開催します

● スポーツ施設を活用した「オータム・チャレンジ・スポーツ」の開催 (再掲) 参考指標

競技団体・各区スポーツ推進委員協議会・各区総合型地域スポーツクラブ・各施設指定管理者協力のもと、毎年9～11月に市内のスポーツ施設を活用して、誰もが参加でき、楽しめるスポーツ教室や大会を開催するとともに、スポーツの日に各区のスポーツセンター・プールの無料開放等を行う「オータム・チャレンジ・スポーツ」を開催します。

● 障がい者スポーツの体験会等の開催 (再掲) 参考指標

障がいのある人もない人も誰もが一緒に気軽に楽しめるボッチャやスリーアイズ等のスポーツについて、大阪市主催スポーツイベントの場を活用し、多くの市民が参加できる体験機会を提供します。

■ 区役所・福祉局と連携して取り組む内容 (再掲)

障がいのある人が身近な地域でスポーツに親しむことができるように地域団体等の障がい者スポーツ振興の取り組みを推進するとともに、そうした取り組みを通じて、障がいや障がい者スポーツへの理解促進を図ります。

■ 関西広域連合として取り組む内容 (関西広域スポーツ振興ビジョン)

「関西マスターズゲームズ」を創設し、ワールドマスターズゲームズ関西の大会理念であるインクルーシブな視点を取り入れて開催します。

参考指標 インクルーシブなスポーツイベントの開催数



障がい者スポーツ体験会の様子 (ボッチャ)
(場所: ヤンマースタジアム長居)



2 障がい者スポーツの指導者の配置・育成

障がい者スポーツをささえる人材の育成や、
誰もがともに楽しめる機会・環境づくりを進めます

● 障がい者スポーツ指導員等の養成や各区のスポーツセンター・プール等への配置 (再掲) 参考指標

障がいのある人に対して、その障がいの状況に応じて適切にスポーツの指導ができる障がい者スポーツ指導員の養成を行い、各区のスポーツセンター・プール等に配置します。

■ 福祉局と連携して取り組む内容 [大阪市障がい者支援計画]

身近なスポーツ施設等の情報発信や各種教室の開催、また障がい者スポーツの体験会等、障がいの有無に関わらず、ともにスポーツを楽しめる機会の提供とともに、障がい者スポーツをささえる人材の育成・派遣、施設のバリアフリー化等、環境整備を進めます。

参考指標 各区スポーツセンター・プールへの障がい者スポーツ指導員等の配置数

3 スポーツに参加しやすい環境づくり

いつでも、どこからでも、気軽にスポーツに参加できるよう、
ICT化の充実を図ります

● 電子決済等の多様な支払手段の導入 新規 参考指標

市利用者の利便性を高めるため、いつでも気軽にスポーツへの参加や利用ができるよう、スマートフォン等を活用した電子決済等の多様な支払手段の導入を進めます。また、ICT等さまざまなツールを活用した参加申込みのオンライン化にも取り組みます。

● オープス・スポーツ施設情報システムの運用管理

窓口に出向かず、いつでも、どこからでもスポーツ施設の利用、支払い手続きができる「大阪市オープス・スポーツ施設情報システム(オープス・システム)」を運用し、市民のスポーツ機会の充実を図ります。

参考指標 キャッシュレス*対応施設数

*口座振替をはじめ、クレジットカード、電子マネー、交通系ICカードやQRコード等の現金以外による支払い

3 地域×スポーツによるまちづくり

1 スポーツ推進委員の活動支援

スポーツ推進委員の地域での活動支援を行います

● スポーツ推進委員の活動支援 参考指標

スポーツ推進委員*が、それぞれの地域で住民やスポーツ団体と連携しながら、スポーツ・レクリエーション事業の企画・立案を行い、委員相互の協力体制のもと活発に事業展開を図れるよう支援します。

*スポーツ基本法及び大阪市スポーツ推進委員規則に基づき、大阪市教育委員会より委嘱される非常勤の公務員であり、地域におけるスポーツ振興の推進者として重要な役割を担う（令和3（2021）年10月現在、759人）

参考指標 スポーツ推進委員への活動支援数

2 地域のスポーツ団体の活動支援

総合型地域スポーツクラブ等の活動支援に取り組み、
地域のコミュニティづくりの一助とします

● 総合型地域スポーツクラブの活動支援 参考指標

総合型地域スポーツクラブの設立・活動の支援や交流会、連絡会等を開催し、学校におけるクラブ活動の指導者の育成など地域スポーツをささえる幅広い市民活動を支援します。

● スポーツ少年団の活動支援

スポーツ少年団の活動のさらなる活性化に向けて、引き続き効果的な事業連携を行い、地域における子どもの多様なスポーツ機会の充実を図ります。

■ 健康局と連携して取り組む内容【大阪市健康増進計画「すこやか大阪21」】

すこやかパートナー等地域の健康づくりに取り組む企業・団体と連携して、地域において適切な身体活動・運動ができる機会の提供や、健康づくり活動を展開するとともに、その活動や成果の周知広報にも積極的に取り組みます。

参考指標 総合型地域スポーツクラブ団体数

3 学校体育施設を活かした地域スポーツの推進

学校体育施設を利用し、誰もが身近に運動する機会を提供するとともに、
地域コミュニティの場として活用します

● 市民レクリエーションセンター事業

大阪市立の小・中学校の体育館等の体育施設を活用して、身近でスポーツに親しめる場として、平日の夜間や休日にさまざまな種目のスポーツ教室を開催します

■ 区役所と連携して取り組む内容〔各区運営方針等〕 参考指標

大阪市立の小・中学校の運動場や体育館等の体育施設を、学校教育に支障のない範囲で地域に開放し、地域住民に継続的にスポーツ活動の場や機会を提供するとともに、地域住民による自主的、主体的な運営や活動の支援を進めます。

参考指標 学校体育施設開放校数

4 地域の特性や資源を活かしたスポーツ活動の推進

スポーツを通じた地域コミュニティの形成をめざします

● 地域のスポーツ施設の運営や、各種スポーツ教室の開催（再掲）

各区のスポーツセンターや屋内プール等の運営、各種スポーツ教室の開催等、市民が身近な地域で、気軽に運動できる環境の整備・充実を図ります。

● 高齢者を対象とした利用割引の実施（再掲）

市営プールやトレーニング場、アイススケート場において、高齢者を対象とした利用割引を行い、生涯スポーツの推進を図ります。

■ 区役所と連携して取り組む内容〔各区運営方針等〕 参考指標

区長杯各種大会や駅伝大会等の区民スポーツ大会開催により、区民の健康増進やスポーツを通じた人と人とのつながりを深め、区民のコミュニティづくりに取り組みます。

また、各区ならではの魅力スポット、商店街や歴史文化といった地域資源を活用したウォークラリーイベントやスポーツ大会等、区民が手軽に運動を楽しめる機会を提供することで、区民の運動実施率向上をめざします。

さらに、各区の特色や特性に応じて、サイクルスポーツやアーバンスポーツ等の新たなスポーツコンテンツの創出など、スポーツを通じた地域活性化をめざします。

参考指標 24区での取り組み件数



スポーツ推進委員の活動の様子
(スリーアイス)
(場所:ヤンマースタジアム長居)



スポーツ少年団の活動の様子
(場所:丸善インテックアリーナ大阪、
ヤンマースタジアム長居)



総合型地域スポーツクラブの活動の様子(バドミントン・卓球)
(場所:港スポーツセンター)

4 地域活性化に資するスポーツ環境の整備・スポーツ産業との連携

1 スタジアム等を活かした地域の活性化 (DX 導入等)

スポーツ施設を活かした周辺地域の賑わい創出を図ります

● 大規模競技施設の多様な利用促進 参考指標

市内の大規模競技施設について、スポーツ競技大会等での利用のない日でも賑わいを創出する拠点として、コンサート会場やeスポーツ会場といったスポーツ以外の多様なコンテンツ利用を促進することで、施設の魅力向上を一層図るとともに、スポーツ施設を活用したまちづくりをめざします。

● ヨドコウ桜スタジアムを拠点とした多様な賑わいの創出

多様な世代が集う交流拠点としてのスタジアム・アリーナとして選定*された「ヨドコウ桜スタジアム(長居球技場)」は、サッカー、ラグビーやアメリカンフットボール等の球技利用を主とする施設ですが、試合日以外にはスポーツに留まらない、多様な世代が集い賑わう交流拠点として、幅広い一般利用を促進します。

また、スポーツチームと連携したスポーツイベントの開催のほか5Gの導入やVR(Virtual Reality 仮想現実)・AR(Augmented Reality 拡張現実)等のデジタル技術を活用した「する」「みる」スポーツの新たな楽しみ方など、スポーツにおけるDXの取り組みやスポーツ関連ビジネス等、民間企業の支援方策についても模索し、関係団体と協力をしながら周辺地域の賑わい創出を図ります。

*経済産業省とスポーツ庁が進めるまちづくりや地域活性化の核となるスタジアム・アリーナの実現(令和7(2025)年までに20拠点)をめざす「スタジアム・アリーナ改革」のモデルとなる対象施設の第1弾「多様な世代が集う交流拠点としてのスタジアム・アリーナ(令和2(2020)年度)」の1つに選定された。

参考指標 スポーツ以外の多様なコンテンツでの利用件数

2 スポーツチームとの連携の推進

舞洲プロジェクトをはじめ、スポーツチームとの連携をさらに進めます

● スポーツチームとの連携 参考指標

大阪市を拠点に活動するスポーツチームと連携し、市主催イベントへの協力、広報支援や地域でのさまざまなスポーツ推進活動を展開します。

さらに、これらの取り組みの内容や成果等の戦略的な情報発信や、活動の発表・情報交換の場・機会づくりも進め、チームの活動を応援します。

● 舞洲スポーツ振興事業（舞洲プロジェクト）

全国でも類をみないプロスポーツチーム3チームの拠点が集積する舞洲の優位性を活かして、スポーツ振興やスポーツ産業の発展、舞洲の活性化及び都市魅力の向上を図る「舞洲プロジェクト」（情報発信、イベント、人材育成、商品技術開発等のスポーツ振興事業）を展開します。

参考指標 スポーツチームとの連携事業数

3 民間・地域・学校との連携の推進

スポーツを軸にした社会課題の解決に向けて、
民間・地域・学校との連携を進めます

● イベントの持続可能なマネジメント（ISO20121 認証の取得など） 新規 参考指標

東京2020大会は、ISO20121*の認証を取得しています。大阪市においても、持続可能なスポーツイベント大会の開催に向け、国際的な大規模イベントにおける温室効果ガスの排出量、廃棄物、リサイクル、周辺環境への影響等、長期の社会的、経済的、及び環境的影響など広範な社会課題解決のため、ISO20121 認証の取得等について、関係団体と連携し取り組んでいきます。

*持続可能性に配慮したイベントを運営するためのマネジメントシステムの国際規格。

■ 教育委員会事務局と連携して取り組む内容〔大阪市教育振興基本計画〕 新規

部活動の改革の取り組みについて、働き方改革の視点に留意しながら各校の実態に応じた部活動を実施していきます。その際、国の方針として、令和5（2023）年度以降、休日の部活動の段階的な地域移行が求められていることを踏まえ、多様な子どもたちが活躍する場を確保するために、地域と子どもが一層つながることをめざし、学校と地域が協働・融合しながら段階的な地域移行を進めます。

■ 区役所と連携して取り組む内容〔各区運営方針等〕（再掲）

区長杯各種大会や駅伝大会等の区民スポーツ大会開催により、区民の健康増進やスポーツを通じた人と人とのつながりを深め、区民のコミュニティづくりに取り組みます。

また、各区ならではの魅力スポット、商店街や歴史文化といった地域資源を活用したウォークラリーイベントやスポーツ大会等、区民が手軽に運動を楽しめる機会を提供することで、区民の運動実施率向上をめざします。

さらに、各区の特色や特性に応じて、サイクルスポーツやアーバンスポーツ等の新たなスポーツコンテンツの創出など、スポーツを通じた地域活性化をめざします。

参考指標 ISO20121 認証の取得数